

国際労働機関の労働安全衛生分野のページ	International Labour Organization (ILO), Occupational Safety and Health
労働安全衛生局(アメリカ)	Occupational Safety and Health Administration (US-OSHA)
国立労働安全衛生研究所(アメリカ)	National Institute for Occupational Safety and Health (NIOSH)
米国産業衛生専門家会議	American Conference of Governmental Industrial Hygienists (ACGIH)
欧州労働安全衛生機構	European Agency for Safety and Health at Work (EU-OSHA)
安全衛生庁(イギリス)	Health and Safety Executive (HSE)
国際標準化機構	International Organization for Standardization (ISO)

ACGIH (American Conference of Governmental Industrial Hygienists : 米国産業衛生専門家会議、米国政府機関または教育関係で労働衛生や健康プログラムの仕事に従事している専門家の組織。化学物質や物理的作用およびバイオモニタリングに関する職業的許容濃度の勧告値や化学物質の発がん性の分類を公表。)

作業環境許容濃度

ACGIH では、作業環境許容濃度を TLV (Threshold Limit Value) と呼んでいる。

TLV は、ほとんどすべての作業者が毎日繰り返し暴露しても、有害な健康影響が現れないと考えられる化学物質の気中濃度である。TLV は、産業界の経験、ヒトや動物による試験・研究などの利用可能な情報に基づいている。これら情報の量と質は物質によって異なるため、TLV の精度にも幅がある。TLV は、安全濃度と危険濃度の間のはっきりした線ではないし、毒性の相対的な指標でもない。

TLV には次の 3 つのカテゴリがある。

*TLV-TWA (Time-Weighted Average : 時間加重平均値、時間荷重平均値)

1 日 8 時間、1 週 40 時間の時間荷重平均濃度。毎日繰り返し暴露したときほとんどの労

働者に悪影響がみられないような大気中の物質濃度の時間加重平均値で、通常、労働時間が 8 時間／日及び 40 時間／週での値。作業環境中で大気中の物質濃度は一日のうちに変動し得るが、TWA は濃度とその持続時間の積の総和を総時間数で割ったものである。

*TLV-STEL (Short-Term Exposure Limit：短時間暴露限界値)

たとえ 8 時間 TWA が TLV-TWA 内にあっても、1 日の作業のどの時間においても、超えてはならない 15 分間 TWA として定義される（15 分間の時間加重平均値）。STEL が設定されている場合の暴露は、15 分を超えて続いてはならず、また一日 4 回以内でそれぞれの間に 60 分以上の間隔がなければならない。短時間に高濃度の物質に暴露したとき毒性影響がみられるような場合等に用いられる。当該物質に急性毒性が認められる場合、TLV-TWA を補足するために設定されるものであり、独立して設定されるものではない。

*TLV-C (Ceiling、天井値)

作業中のどの時点においても超えてはならない濃度。

Skin(皮膚)の表示があるもの

粘膜や眼を含め経皮吸収の可能性のあるものについては数値のうしろに(皮膚)の表示がある。